

各地域における取組

1 北足立地域における地産地消の取組状況

1 令和6年度重点目標

- (1) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
 (2) 市町、農協等が実施する地産地消活動の支援及び地元農産物PR活動の推進
 (3) 農商工連携及び6次産業化の推進

2 令和6年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
通年	(1) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 県産農産物サポート店 新規登録3店舗 埼玉県ふるさと認証食品の推進 認証食品 新規登録10製品、更新2製品 (2) 市町、農協等が実施する地産地消活動の支援及び地元農産物PR活動の推進
12月25日	○わっしょい大使による取材対応 埼玉わっしょい大使が朝霞市のほ場（あいざわ農園）を取材し、Instagram等のSNSでにんじんのPR活動を行った。
通年	○市及び農業団体等が実施する地産地消活動の支援 市や農業団体等が実施する地域住民等を対象とした農業体験において、その活動を支援した。 さいたま市：ジャガイモ 朝 霞 市：じゃがいも、さつまいも、にんじん、冬野菜（だいこん、こまつな） 【さいたま市】  ・ジャガイモ掘り取り体験 日時：6月11日(火)14日(金) 参加人数：近隣小学校2年生 各約120人 場所：市営大宮球場北側見沼

【朝霞市】



・じゃがいも掘り
日時：6月15日（土）
参加人数：301名
場所：朝霞市北原



・さつまいも掘り
日時：10月19日（土）
参加人数：288名
場所：朝霞市浜崎



・にんじん掘り
日時：12月14日（土）
参加人数：238名
場所：朝霞市膝折



・冬野菜収穫体験
日時：1月25日（土）
参加人数：145名
場所：朝霞市根岸台

2 入間地域における地産地消の取組状況

1 令和6年度重点目標

- (1) 地元農産物のPR活動・販売支援
- (2) 6次産業化及び農商工連携の推進
- (3) 食育の推進

2 令和6年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
6月1日～ 10月31日	(1) 地元農産物のPR活動・販売支援 ○三芳町産農産物の販売促進キャンペーンの実施 みよし野菜ブランド化推進研究会は、「みよし野菜ロゴマーク」を集めて応募すると地元産農産物等が当たる販売促進キャンペーンを実施した。
11月3日	○県民ふれあいフェスタにおける地域農産物の販売 川越市のウエスタ川越交流広場において開催された「県民ふれあいフェスタ」に対し後援を行って県産農産物の消費拡大を行った。 当日は、JAいるま野の「明日の農業担い手育成塾」の塾生が入間地域で生産した農産物の販売を行った。
2月15日	○わっしょい大使による取材対応 埼玉わっしょい大使が越生町梅農家体験教室(越生町梅産地を元気にする協議会)を取材し、Instagramで協議会の活動内容、越生町産梅の加工品のPR活動を行った。  

2月15日～ 16日	○第3回コエド芋パーク 川越市の蓮馨寺において開催された「第3回コエド芋パーク」に対し後援を行い、川越いもの普及活動を支援した（主催：コエド芋パーク実行委員会）。会場にて、川越芋「紅赤」を使った商品開発のコンテストを開催した。 
通年	○各 4HC 活動等での PR 販売活動支援 ・川越市 4HC - 農業ふれあいまつり（11/23 農業ふれあいセンター） - ファーマーズマーケット（12/8 ウニクス川越） ・ふじみ野市 4H - 富士見市産業祭 野菜販売（10/23 富士見市役所） - ふじみ野市産業祭 野菜販売（11/3 福岡中央公園） ・所沢市 4H - 所沢市農業祭（10/26、27 航空記念公園） ・狭山市 4H - 狭山市農業祭 野菜販売（11/16 JA いるま野狭山支店） ・三芳町 4H - 三芳町産業祭 野菜販売（11/10 三芳町総合グラウンド） ・むさし 4H - 坂戸マルシェ（7/27 芦山公園） - 美杉台マルシェ（8/18 9/21 生活の木） - 地域活性化マルシェ（10/13 三井アウトレットパークいるま） - はんのう生活祭（10/15 飯能市役所） - 美杉台マルシェ（11/3、3/3 メディカルハーブガーデン生活の木） - もちよって市（11/30 12/7 毛呂山ドライブパーク西大久保）

7 月 4 日

(2) 6 次産業化及び農商工連携の推進

○農業の 6 次産業化研修会の実施

6 次産業化に取り組む農業者等に対して、食品の製造販売に必要な基本的な衛生管理の理解を深めるため、講師を招いて研修会を実施した（14 名参加）。



「加工品をもっと売りたいあなたにマーケティング」研修会

12 月 12 日

○埼玉県農商工連携フェア（6 次）における出展支援

管内事業者等への出展推進及び 1 事業者への出展支援を行った。



小島ブドウ園

通年	○ふるさと認証食品の認証 更新 2 1 製品 弓削田醤油 醬クリームマーブル 醬クリーム（豆つぶ） 越生町カタクリの会 手づくりしぼりたてミルク おごせ手づくり梅アイス おごせ手づくりゆずちゃんアイス おごせ手づくり うめりんアイス 小江戸鏡山酒造(株) 鏡山さけ武蔵大吟醸 鏡山純米酒 (有)加藤牧場 ノンホモ低温殺菌牛乳 しぼりたてミルク なめらかプリン 西武酪農乳業(株) 西武酪農 3. 6 牛乳 彩の国スポーツ牛乳 狭山ベリーランド ブルーベリージャム（プレザーブスタイル） いちごジャム
-----------	--

通年	ノーラ名栗 ルバーブジャム (3) 食育の推進 ○埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業の活用支援 狭山市、入間市の保健センターが実施する食育推進活動に対する国庫補助事業の円滑な活用を図るため、適宜サポートを行った。
-----------	---

3 比企地域における地産地消の取組状況

1 令和6年度重点目標

- (1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進
- (2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動の支援
- (3) 食育の推進
- (4) 地元農産物の加工利用推進

2 令和6年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
12月 ～1月	(1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進 ○浦和競馬場での地元農産物の販売・PR 浦和競馬令和6年度第9回開催(12月23～26日)において東松山市、川島町及び吉見町が、また、第10回開催(1月7日～10日)において川島町が、それぞれ冠レースの施行、優勝者(馬主)への副賞品(地元農産物加工品)の提供を行うとともに、地元農産物の販売及びPRを行った。  浦和競馬場内での東松山市の地元農産物等販売風景
12月15 日、16日	(2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動支援 ○比企地域における農産物直売所の活性化支援 J A埼玉中央農協が自ら開設している農産物直売所の活性化を図るため、毎年度実施している「J A埼玉中央農産物直売所コンテスト」に当センター職員2名が審査員として参加し、農産物直売所の活性化を支援した。



直売所コンテスト結果報告（表紙）

7月～3月

(3) 食育の推進

○埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業

鳩山町は、令和6年度埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業を活用し、食育教室及びレシピコンテストを開催(7/19～9/2)した。コンテストで受賞したレシピは、レシピブック(下左)としてまとめられ、配布された(200部)。



食エコレシピブックの表紙



コンテスト開催チラシ

7年

3月4日

(4) 地元農産物の加工利用推進

○6次産業化研修会（あんずジャム加工）の開催

令和7年3月4日、女性農業者団体向けに鳩山町の特産品のあんずを使った、ジャムの加工研修を開催し、多くの参加者が参加した。



通年

○ふるさと認証食品の推進

継続認証 4件 新規認証 5件



霜里ざる豆腐



霜里おぼろ豆腐



小麦粉(農林 61 号)で作ったうどん。



帝松 純米大吟醸 龍躍



帝松 純米吟醸 瑞鹿

○ ふるさと支援隊の活動

農業ビジネス支援課所管の「ふるさと支援隊」事業として、ときがわ町で令和4年度から3年間活動している十文字学園女子大学(食品開発学科)は、ときがわ町の大附地区の「福みかん」を活用した様々な商品を企画、開発し、販売を進めており、令和7年2月5日には3年連続でさいたまスーパーアリーナで開催された「埼玉農商工連携フェア」に出品し、講評を博した。

若者Z世代が好む柑橘製品の開発



福みかん



フォーチュンオレンジジェラート



福みかんのウイークエンド・シトロン



新聞の取材にも対応しました



ブース来場者に商品の説明を行います

埼玉農商工連携フェア十文字学園女子大学出展ブース

4 秩父地域における地産地消の取組状況

1 令和6年度重点目標

- (1) 地産地消運動の普及・啓発
- (2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進及び継続

2 令和6年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
5月26日	(1) 地産地消の普及・啓発 ○第15回里山まるマルシェ（横瀬町）における秩父地域産農産物（きゅうり及び茶）のPR アンケート回答者にきゅうりの無料配布を実施（併せてS-GAPのPRも実施）。また、抽選会の景品として紅茶を出品。   
6月22日	○秩父鉄道及び秩父観光農林業協会と連携した秩父産ブルーベリーのPR（秩父鉄道SLブルーベリーエクスプレス）  
9月14日	○秩父鉄道及び秩父観光農林業協会と連携した秩父地域産シャインマスカットのPR（秩父鉄道SLシャインマスカット郷）  

11月10日	○尾之内溪谷紅葉まつり（小鹿野町）における秩父地域産農産物（かぼす）のPR アンケート回答者にかぼすの無料配布を実施（併せてS-GAPのPRも実施）。
11月23日	○第16回里山まるマルシェ（横瀬町）における秩父地域産農産物（米、ゆず、かぼす、茶）のPR 棚田及び中山間地域における農業のPRとして、来場者に秩父地域の中山間地域で栽培されたゆず及びかぼす、寺坂棚田（横瀬町）で生産された米のプレゼントを実施し、抽選会の景品として紅茶を出品。併せて、パネルや資料を用いて、来場者に秩父地域の中山間地における農業の取組を紹介。
1月18日	○道の駅果樹公園あしがくぼ 氷柱イベント（横瀬町）における秩父地域産農産物（米）のPR 棚田における農業のPRとして、来場者に横瀬町寺坂棚田で生産された米の無料配布を実施。

2月5日 通年	(2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進 ○令和6年埼玉県農商工連携フェア、農業発！新商品お披露目会 管内農業者等への出展推進及び出展に対する支援を実施（農商工連携フェア出展者：2事業者、農業発！新商品お披露目会出展者：2事業者）。 ○新商品の開発 管内生産者の加工品開発の支援を実施。 <table border="1" data-bbox="523 696 1450 1628"> <tr> <td data-bbox="523 696 978 1144">  ヤマブ味噌漬 秩父きゅうり </td><td data-bbox="978 696 1450 1144">  いちごミルクのもと・ レモネードのもと </td></tr> <tr> <td data-bbox="523 1144 978 1628">  秩父黄金かぼす果汁入り エナジードリンク </td><td data-bbox="978 1144 1450 1628">  あまりんアイスミルク </td></tr> </table>	 ヤマブ味噌漬 秩父きゅうり	 いちごミルクのもと・ レモネードのもと	 秩父黄金かぼす果汁入り エナジードリンク	 あまりんアイスミルク
 ヤマブ味噌漬 秩父きゅうり	 いちごミルクのもと・ レモネードのもと				
 秩父黄金かぼす果汁入り エナジードリンク	 あまりんアイスミルク				
7月24日	○6次産業化研修会の開催 秩父地域における農業の6次産業化事業者及び志向者、観光農園事業者に対して販売促進の能力向上を目的として「情報発信に役立つ写真撮影研修会」を開催した。（参加者9名）。				

通年	(3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進及び継続 ○ふるさと認証食品の認証 更新 2 製品 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="448 365 831 651">  英養蜂園 英のはちみつ </td><td data-bbox="831 365 1508 651">  (有)新井武平商店 あおがんな、あちゃむし </td></tr> </table>	 英養蜂園 英のはちみつ	 (有)新井武平商店 あおがんな、あちゃむし
 英養蜂園 英のはちみつ	 (有)新井武平商店 あおがんな、あちゃむし		

5 児玉地域における地産地消の取組状況

1 令和6年度重点目標

- (1) 地元農産物PR活動の支援
- (2) 市町、農協等が実施する地産地消運動の支援
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
- (4) 6次産業化及び農商工連携の推進

2 令和6年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
7月31日	(1) 地元農産物PR活動の支援 ○埼玉わっしょい大使によるInstagram投稿の支援 埼玉わっしょい大使によるInstagramの投稿を活用し、美里町のブルーベリーをPRした。 Instagramの投稿にあたっては、埼玉わっしょい大使の取材先となるほ場や取材行程の調整、資料作成、取材時のほ場案内等の支援を行った。   埼玉わっしょい大使が池田ブルーベリー園を取材している様子   (2) 市町、農協等が実施する地産地消運動の支援 ○農業活動体験への支援 管内市町や農協が実施する地域住民等を対象とした農業活動体験を支援した。

6 月某日 7 月某日 11 月 16 日 2 月 8 日	・上里小麦栽培体験教室 品 目：麦 内 容：刈り取り、収穫祭、種まき、麦踏みと除草 参加者：上里町内の小学生とその保護者 場 所：上里町堤地内 ・J A 田んぼオーナー収穫体験 品 目：水稻 内 容：田植え、収穫 参加者：県内及び都内の親子 場 所：上里町勅使河原地内 ○地元農産物 P R イベントに関する情報発信 ブルーベリー、なし、米、いちごといった、管内市町や農協が実施する旬の地元農産物の P R イベントに関する情報をフェイスブックで発信した。
通年	(3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 ○県産農産物サポート店の新規登録（2 店舗） ハナファームキッチン（本庄市） 県産野菜を使用したサラダ 本庄銀座ブルワリー（本庄市） 県産果物を使用したビール
通年	○ふるさと認証食品の認証（新規 0 製品、継続 1 製品） 池田ブルーベリー園（美里町） 自家生産のブルーベリーを使用した（左）果汁入り飲料、（右）フルーツソース

2月5日	(4) 6次産業化及び農商工連携の推進 ○埼玉県農商工連携フェアにおける新商品お披露目会の出展支援 農業発！新商品お披露目会の出展推進を行い、出展を希望した上里町の1経営体に対し、バイヤー目線のFCPシートの作成を支援した。 当日、出展者は商品のFCPシートやパネル、サンプル品を用いて来場者に商品PRを行った。 会場の様子 出展者：(株)アスパラファーム 商品：アスパラアイス
2月5日	○埼玉県農商工連携フェアの出展推進 管内の農業者や食品事業者に対し、埼玉県農商工連携フェアの出展推進を行った。 当日は本庄市の2事業者が出展し、パネルやサンプル品を用いて来場者と商談や情報交換を行った。 出展者：(株)ユーファーム (十文字学園女子大学との共同出展) 商品：あまりん(生果)、 あまりん紅茶等のいちご加工食品 出展者：(株)ファームサイド 商品：ミニトマト

6 大里地域における地産地消の取組状況

1 令和6年度重点目標

- (1) 地産地消運動の推進
- (2) 地場産農産物の加工利用促進
- (3) 食育の推進
- (4) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

2 令和6年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
6月17日～ 21日 10月23日	(1) 地産地消運動の推進 ○浦和競馬場での地域特産物のPR 各市町にてレースを協賛し、地元農産物PRを行った。深谷市は6月17～21日の5日間に優勝者の副賞（ゆり束、ねぎ束）提供及びキッチンカー出店をした。寄居町は10月23日に会場内にてみかんの配布を行った。   寄居町・みかんジュースの販売 深谷市・キッチンカーの様子
4月25日、 9月20日、 11月7日	○埼玉わっしょい大使による地元農産物のPR 埼玉わっしょい大使による、熊谷市のなたね生産者ほ場・なたね油工場見学、青パパイヤ生産ほ場見学及び飲食店で試食、深谷市のブロッコリー生産者や直売所関係者のインタビュー等実需者と農産物PRを行いInstagramに発信された。    生産者インタビュー

2月7日

(2) 地場産農産物の加工利用促進

○食と農の展示・商談会におけるPR

6次産業化商品PRのため、大里管内から16団体が展示商談会に出展を行い、地元農産物の消費拡大の推進に貢献した。「農業発！新商品お披露目会」には3団体出展し、「Made in SAITAMA 優良食品大賞2025」では、最終選考に4商品が選ばれた。



展示商談会の様子および最終選考商品

5月～2月

(3) 食育の推進

○「みどりの学校ファーム」実施校への資材等提供

管内の小・中学校では、農業体験を通じて自然や食物に対する様々なことに理解を深めるため、学校単位で農園を設置しており、必要な資材提供を行っている。授業では、種まき等から収穫までの作業過程を経験する。生徒自らが収穫した農作物を給食の食材として使用している学校もある。自分たちで育て、食べることを経験することは、食育として学ぶよい機会となっている。



小学校での農作業体験の様子

通年	(4) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 ○ふるさと認証食品 新規認証トマトジャムほか継続認証18製品   ヨウダトマト園「とまとジャム 100%」 マルツ食品株式会社「秩父きゅうりしょうゆ漬け」 ○県産農産物サポート店新規登録数 6店舗 バンビの森café（熊谷市）、うどん処 はるちゃん（熊谷市） お米caféさかもと（熊谷市）、穂「みのる」（熊谷市） 大衆イタリアンGakisan（熊谷市）、焼肉たてがみ（寄居町）
-----------	--

7 加須地域における地産地消の取組状況

1 令和6年度重点目標

- (1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進
- (2) ブランド農産物のPRによる地産地消の推進
- (3) 地場農産物の加工品の開発

2 令和6年度取組状況

月日・時期	取組状況
通年	(1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進 ○埼玉県ふるさと認証食品の推進 認証件数 7件（新規 0件 継続 7件） うちプレミアム 1件   いちじくジャム みつか味噌
10月～	(2) ブランド農産物のPRによる地産地消の推進 ○管内ブランド農産物のPR 県育成品種であるいちご「あまりん」を周知するために、加須農林振興センターで購入した「あまりん」ののぼり旗を加須市に提供した。それらは、地域住民等がよく買い物に利用する道の駅等に設置され、あまりんのPR及び地産地消の推進に一役かった。 また、2月にさいたま新都心公園で開催された「埼玉いちご祭」では、JAほくさい北川辺いちご部が参加した。多くの来場者で賑わい、大いに盛り上がった。



道の駅



いちご祭り

(3) 地場農産物の加工品の開発

通年

○加須市役所内で月 1 回、農家の『手作り加工品』を P R 販売

「加須市 6 次化商品販促グループ」は、第 3 火曜日の正午から午後 1 時までの間、会員が開発・製造した商品を持ち寄って、市役所職員や来庁中の市民の皆さんに販売した。販売したホンモロコ煮付け、ジャム、ドライフルーツ、団子など、来場した購入者に好評だった。



販売会の様子

通年	○ 6 次産業化商品の新規開発支援 6 次産業化商品の加工、販売を新規で行う取組を支援した。当センターでは販路拡大の支援として、「農業発！新商品お披露目会」出展の支援を行った。 開発された商品は自社のほか、管内の直売所でも販売され、売れ行きは好評であった。 「農業発！新商品お披露目会」出展 あまりんジャム
-----------	---

8 春日部地域における地産地消の取組状況

1 令和6年度重点目標

- (1) ブランド農産物の販売促進
- (2) 6次産業化の支援活動
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

2 令和6年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
8月15日	(1) ブランド農産物の販売促進 埼玉わっしょい大使や埼玉県広報アンバサダーの情報発信力を活用して、管内農産物の魅力を広くPRした。 ① 白岡市の「梨」 埼玉わっしょい大使4名と埼玉県広報アンバサダー7名が、アルファイノベーション(株)の梨栽培ほ場と事務所を訪れ、ほ場見学、収穫体験、梨や梨加工品の試食等を行いながら、取材や写真・動画撮影などを行った。その後、地元農産物直売所「しらおか味彩センター」で、梨をはじめ白岡市産農産物の販売状況などを見学・取材し、これらの様子が大使やアンバサダーのInstagramによって広く情報発信された。  慣行栽培ほ場の見学&取材  ジョイント栽培ほ場の見学&取材

10 月 23 日



梨や梨加工品の試食&取材



直売所での梨PR&取材

② 三郷市の「三郷秋どりえだまめ」

埼玉わっしょい大使3名が、三郷市の染谷哲央氏の枝豆栽培ほ場を訪れ、ほ場見学、収穫体験、試食等を行い、三郷市がブランド化を進めている「三郷秋どりえだまめ」の美味しさを堪能しながら、取材や写真・動画撮影などを行った。その後、JAさいかつ農産物直売所「べじ太くん」で、三郷市産農産物の販売状況などを見学・取材し、これらの様子が大使のInstagramによって広く情報発信され、ブランド化の後押しにつながった。



ほ場見学&動画撮影



えだまめ脱莢機の実演



えだまめの試食



直売所見学&取材

8月6日 1月28日	(2) 6次産業化の支援活動 農業の6次産業化を支援するため、研修会の開催、新商品開発支援、商品PR支援を実施した。 ○ 研修会の開催 「高品質なジャム・フルーツソース加工のポイント」 参加者 20名 「食品表示と賞味期限設定のポイント」 参加者 23名 ○ 新商品開発支援及び県事業推進 個別巡回により、事業者の取組に応じて、新商品開発支援、専門家相談や県事業推進を行った。 また、計画的な取組に向けて、事業計画書作成の推進及び作成支援を行った。 新商品開発 8品目 【主な新商品】 トマトジャム 久喜市・トマトガーデン加村 冷凍むき栗 ぽろたん 宮代町・農工房奈味
--------------------------	--

10月26日

- 令和6年度埼玉県立大学清透祭
管内から4団体が出展し、農産物や6次産業化商品の販売支援を行った。

【出展業者】

(株)OKASHIRA（春日部市）、(株)ヒロファーム（春日部市）、
(有)おづつみ園（春日部市）、(株)IBUKI（杉戸町）



(株)ヒロファーム



(株)OKASHIRA

2月5日

- 農業発！新商品お披露目会（県主催）
管内から2団体が出展し、6次産業化の新商品をPRした。

【出展業者】

アルファイノベーション(株)（白岡市）、農工房奈味（宮代町）



アルファイノベーション(株)



農工房奈味

(3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

○ ふるさと認証食品の認証推進

新規認証商品 1 商品

更新商品 4 2 商品



(株)OKASHIRA
「農園育ち いちじくアイス」

○ 県産農産物サポート店の登録推進

新規登録店舗 0 店舗

令和7年度 地域における地産地消運動の活動計画

地 域	重 点 目 標
さいたま	(1)ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 (2)市町、農協等が実施する地産地消活動の支援及び地元農産物P R活動の推進 (3)農商工連携及び6次産業化の推進
入 間	(1)地元農産物のP R活動・販売支援 (2)6次産業化及び農商工連携の推進 (3)食育の推進
比 企	(1) 農産物直売所等を活用した地元農産物P R活動の推進 (2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動の支援 (3) 食育の推進 (4) 地元農産物の加工利用推進
秩 父	(1)地産地消運動の普及・啓発 (2)6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進 (3)ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進及び継続
児 玉	(1)地元農産物P R活動の支援及び市町、農協等が実施する地産地消運動の支援 (2)ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 (3)6次産業化及び農商工連携の推進
大 里	(1)地産地消運動の推進 (2)地場産農産物の加工利用促進 (3)食育の推進 (4)ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
加 須	(1)地産地消の取組による消費者への理解の促進 (2)ブランド農産物のP Rによる地産地消の推進 (3)地場農産物の加工品の開発
春日部	(1)ブランド農産物の販売促進 (2)6次産業化の支援活動 (3)ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進